

カラ — ありし日の伊藤三喜庵先生
追悼 ● かけがえない人生の父 — 伊藤喜二郎先生を想う……………黒田 武志

● 沙門三喜庵……………東 隆真
● 偲ぶ……………中村 治雄

カラ — 絵本『ジョン万次郎の生涯』より……………33
● 伊藤三喜庵の世界……………41

特別寄稿 ● インド石窟の旅……………伊藤 博・伊藤 宣
特別読物 ● 日本語化したインドのことは……………町田 靖治

● 法隆寺金堂修正会に随喜して……………阿部 慈園
● 「み仏様がお見通し」 — 光真寺のおばあちゃん……………菊地 展江

● 米国加州佛真寺に於ける参禅生活……………遠藤 博因
● ガングーリ先生……………宇野 恭章

● 私の一癖好きな、居場所……………黒川 麻子
● 横浜善光寺留学僧育英会の第十一回総会を開催……………104

● 『横浜善光寺留学僧育英会論文集VOL.11』留学・求法・弘法の旅……………阿部 慈園
● 横浜善光寺留学僧育英会・新育英生三人に辞令……………114

● 第13回育英生論文 久間泰賢、山口菜生子、洪 在成……………118
カラ — 善光寺節分会……………133

● 節分は心新たに生きていくことを誓う日 — 善光寺節分会に因み……………黒田 武志
読者のたよりの143 声156 留学育英生からのたよりの169 ご寄付御礼176

題字・イラスト 伊藤三喜庵

137 133 118 114 107 104 98 95 91 84 77 62 49 41 33 28 25 12

巻頭言

二十一世紀に後二年と迫まって参りました。—— 昨年の秋に地元上大岡駅にデパートとシヨッピングセンターが完成し、駅舎も一変し、住み良い街づくりが出来ました。市民の方々、日野公園墓地や善光寺に参拝される方には大変便利になりました。又「横浜五輪」、二〇〇八年に夏季五輪の開催地としての計画が発表され、明るいニュースにつつまれております。

さて、今回の「成寿」は故伊藤喜三郎（三喜庵）先生の特集号とさせていただきますました。伊藤先生は日本建築界の重鎮であり、伊藤喜三郎建築事務所会長、東京都建築協会名誉会長として、又南画界にあつては自由画壇理事長、日本南画院副理事長の要職につかれ、一九七一年には、文部大臣賞を受賞されました。一九九一年より二年間、読売新聞連載小説「椿と花木」の挿絵を描かれ、多くの方々の評価を受けました。

善光寺では釈迦殿の御設計をいただき、善光寺檀頭として多年にわたり、仏法の拳揚きょうりやう、寺門百世の栄を期すべき計をたてて下さり、機関紙「成寿」の表紙、カツト等をお描き下さいました。

先生は生涯、「自ら勉めつと、自ら励みはげ、大いに空拳くうけんを伸ばし、本来の面目を現前し、自己の心地を開眼し、そして裕ゆたかにして惜おしまず、富んで驕おごらず、清浄法身、清浄光を放つた」生活を送られた方であります。何よりも人間としての内なる充実をとげられたお一人であつたと信じております。

又、「椿と花水木」の作者の津本陽先生は「伊藤先生の墨絵には、お人柄があらわれるといふのか、見る者は想像力を刺激され画中の情景の中へ包みこまれるような思いに誘われる。おだやかなうちに凜りんこ乎とした風韻ふういんがにじみでている。」と言われております。

善光寺は、二十一世紀に向つて、人類の豊かな未来の寺としての使命を果たし、仏法交流、世界平和を願い、多くの方々に光明を与え、喜ばれるよう、精進、努力してゆきたいと思ひます。